

## 【新潟市】

市町村・団体名	区分	小区分	支援策の名称	内 容	担当窓口	連絡先
新潟市	仕事	就職	新潟市障がい者雇用企業認定制度	新潟市内で障がい者雇用に積極的に取り組んでいる企業を認定します。	障がい福祉課	025-226-1249
新潟市	仕事	就職	新潟市障がい者就業支援センターこあサポート	障がいのある方の就職に関する支援を行います。働くために必要な情報をお伝えします。 予約が必要ですので、まずはお電話ください。利用料金は無料です。	新潟市障がい者就業支援センターこあサポート	025-256-8821
新潟市	仕事	就職	女性活躍応援事業	働く女性、働きたい女性を対象にしたセミナー等を開催します。	男女共同参画課	025-226-1061
新潟市	仕事	就職	障がい者雇用にいがた企業探訪	障がい者の就労・雇用を促進するため、積極的かつ先進的な取り組みを行っている事業所を訪問取材し、雇用経緯・ノウハウ・制度活用など活きた情報を広く周知・啓発を行うことを目的に冊子「障がい者雇用にいがた企業探訪」を作成しています。	障がい福祉課	025-226-1237
新潟市	仕事	起業	オンライン相談	遠方在住の方もご利用いただけるオンライン相談を実施しており、U・Iターン創業などの相談に応じます。また、特定創業支援等事業を活用するための相談としても利用可能です。	新潟IPC財団	025-226-0550
新潟市	仕事	起業	中小企業開業資金	市内での開業予定者または、開業後間もない中小企業者への資金調達を支援する融資制度。新潟市の特定創業支援等事業の支援を受け、本市中小企業開業資金（特定創業支援枠）を利用する開業者を対象に、融資実行後3年間無利子となるよう、利子補給を実施します。	商業振興課	025-226-1629
新潟市	仕事	就農	アグリパーク就業研修支援事業	栽培知識・技術取得研修、みらい農業塾、経営能力育成研修、農業インターンシップ、就農相談など各種就農支援。その他、農業体験プログラムも用意しています。	農林政策課 (担い手育成室)	025-226-1768
新潟市	仕事	その他	商店街空き店舗活用事業	商店街の空き店舗を活用し、事業の継続性が認められる店舗の出店を支援します。 ■補助率：対象経費の1/3以内 ※U・Iターン者、事業承継者の場合は補助率1/2 ■限度額：賃借料100万円（1年間） 改装費、備品購入費等150万円	商業振興課	025-226-1633
新潟市	仕事	その他	オープンネーム事業承継推進事業	オープンネーム事業承継のマッチングプラットフォーム「ローカル承継マップ新潟」に事業者情報を公開し、全国の起業希望者・移住希望者とのマッチングによる後継ぎ候補の募集を行っています。 ※オープンネームとは 売り手の顔、名前、事業への思いなどを開示し、利益だけでは測れない事業の魅力や価値に共感を得ながら交渉を進めていく手法です。	産業政策・イノベーション推進課	025-226-1610
新潟市	住宅	賃貸	保育士宿舍借り上げ支援事業	保育所等を運営する者が借り上げた保育士宿舍に雇用する保育士を居住させる場合、宿舍にかかる費用の一部を補助します。 ■補助金交付対象者：保育所等を運営する者 ■対象施設：保育所、認定こども園、小規模保育事業A型を行う事業者、事業所内保育事業を行う事業者 ■対象保育士 ・新潟県外からのU・Iターン者で、雇用開始日の1年以内に新潟市に転入した者 ・市内指定保育士養成施設新卒者 ■補助対象経費：賃借料、共益費、管理費 ■補助額：一月あたりの補助額は、補助対象経費と国要綱に基づく新潟市の基準額とを比較し、低い額の4分の3を乗じて得た額。 ※国要綱に基づく新潟市の基準額は、54,000円を見込んでいますが、確定ではありません。 ■補助期間：補助金の交付を受けた年度から起算して5年目の会計年度末まで	幼保支援課	025-226-1217

## 【新潟市（つづき）】

市町村・団体名	区分	小区分	支援策の名称	内 容	担当窓口	連絡先
新潟市	住宅	リフォーム	空き家活用推進事業	県外からの移住定住に併せて空き家を取得して住み替える場合の購入費・リフォーム費用の一部を補助します。 <移住定住活用タイプ> ○県外からの移住定住者 ■補助率：1/2 上限 購入100万円 リフォーム100万円 購入+リフォーム200万円	住環境政策課	025-226-2813
新潟市	結婚・子育て	結婚	婚活支援事業	結婚の前段となる「出会い」を支援するため、婚活支援の取り組みを行う地域や民間の団体によるネットワークを構築し、情報共有や相互協力を促し、その事業について新潟市が後方協力するなど、効果的な婚活支援に取り組みます。	こども政策課	025-226-1193
新潟市	結婚・子育て	結婚	結婚新生活支援事業	新規に婚姻する世帯の住宅取得や住宅賃貸、引越しにかかる費用を補助し、結婚に伴う新生活を支援します。（※R8年7月中旬ごろ受付開始予定）	こども政策課	025-226-1193
新潟市	結婚・子育て	妊娠・出産	乳幼児用減免ごみ袋	すべての妊産婦に医療費の助成（出産の翌月末まで）を行います（一部自己負担あり）。 【自己負担額】 ■通院：医療機関ごと1回530円（月5回目以降0円） ■入院：1日1,200円 ■調剤：0円	こども政策課	025-226-1201
新潟市	結婚・子育て	妊娠・出産	妊産婦医療費助成	通院・入院ともに0歳から高校3年生相当年齢まで医療費を助成します（一部自己負担あり）。 【自己負担額】 ■通院：医療機関ごと1回530円（月5回目以降0円） ■入院：1日1,200円 ■調剤：0円	こども政策課	025-226-1201
新潟市	結婚・子育て	妊娠・出産	不妊・不育症治療費助成	妊婦及び高校3年生相当年齢以下の子どもの保護者に対し、協賛店（市内約740店）で提示することにより商品の割引や特典の付与などのサービスが受けられるカードを発行しています。	こども政策課	025-226-1193
新潟市	結婚・子育て	妊娠・出産	妊婦・乳児健康診査費助成	<妊婦健康診査費助成> ○産科等医療機関等で受診する場合、受診費用を最大14回助成します。 ※各回により助成できる検査内容が決まっています。 ※多胎妊娠の方には追加で最大5回助成します。 <乳児の健康診断査費助成> ○生後3か月頃及び10か月頃に県内の小児科等医療機関で受診する場合、受診費用を最大2回助成します。	こども家庭課	025-226-1205
新潟市	結婚・子育て	妊娠・出産	新生児聴覚検査費用助成	○新生児の聴覚検査（初回検査）に係る費用を助成します。（上限5千円）	こども家庭課	025-226-1205
新潟市	結婚・子育て	妊娠・出産	産婦健康診査費助成	<産婦健康診査費助成> 出産後間もない時期（産後2週間、1か月）に産科医療機関で受診する場合、受診費用を1回あたり5千円、2回まで助成します。	こども家庭課	025-226-1205
新潟市	結婚・子育て	子育て	産後ケア事業	○宿泊・デイケアは、お子さんが生後6か月未満、訪問ケアは1歳未満まで利用可能です。 ○自己負担額は下記のとおり。（市民税非課税世帯は1/2） ○いずれのケアも初回は無料です。 ■宿泊ケア：1泊2日24時間（3食提供）自己負担額5,000円 ※7回（1泊2日利用で2回）まで利用可能 ■デイケア：1日6時間（1食提供）自己負担額2,000円 ■訪問ケア：90分/回 自己負担額1,000円 ※デイケア・訪問ケアは併せて7日（回）まで利用可能	こども家庭課	025-226-1205

## 【新潟市（つづき）】

市町村・団体名	区分	小区分	支援策の名称	内 容	担当窓口	連絡先
新潟市	結婚・子育て	子育て	こども医療費助成	通院・入院ともに0歳から高校3年生相当年齢まで医療費を助成します（一部自己負担あり）。 【自己負担額】 ■通院：医療機関ごと1回530円（月5回目以降0円） ■入院：1日1,200円 ■調剤：0円	こども政策課	025-226-1201
新潟市	結婚・子育て	子育て	妊娠・出産サポート体制整備事業	市内全区の健康福祉課に開設する「妊娠・子育てほっとステーション」において、保健師や助産師等専門職員が、妊娠前から子育て期を通じて切れ目のない支援を行います。	こども家庭課	025-226-1205
新潟市	結婚・子育て	子育て	にいがたっすこやかパスポート	妊婦及び高校3年生相当年齢以下の子どもの保護者に対し、協賛店（市内約730店）で提示することにより商品の割引や特典の付与などのサービスが受けられるカードを発行しています。	こども政策課	025-226-1193
新潟市	結婚・子育て	子育て	新潟市ファミリー・サポート・センター	子育てを応援してほしい人と応援したい人がそれぞれ会員登録を行い、センターが各々の条件にあった会員を紹介することで、地域の中で預かりや送迎などのサポートを行います。	新潟市ファミリー・サポート・センター	025-248-7178
新潟市	結婚・子育て	子育て	保育料の軽減	同一世帯に、保護者が同じ高校3年生までの児童が3人以上いる場合、そのうち最も年齢の高い児童から数えて3人目以降の児童の保育料を無料に。また、児童が2人以上同時に保育園等を利用する場合、料金の軽減があります。	幼保運営課	025-223-7374
新潟市	結婚・子育て	子育て	延長保育	就労形態の多様化などに伴う延長保育の需要に対応するため、延長保育を実施します。 ■利用料 30分あたり100円（公立園） ※私立園については各園の規定による。	幼保運営課	025-223-7374
新潟市	結婚・子育て	子育て	休日保育	市内の認可保育施設を利用し、保育認定を受けている児童を対象に、保護者の就労等により日曜・祝日にご家庭で保育できないときにご利用いただけます。 ■利用方法：事前登録後、休日保育実施施設に利用希望日の空き状況などを確認の上、直接申し込み ■利用料金：月額保育料に含まれます（別途延長保育料が必要な場合あり）。	幼保運営課	025-223-7372
新潟市	結婚・子育て	子育て	一時預かり	病気やけが、冠婚葬祭など、保護者の事情でやむを得ず家庭での保育が困難になった場合、保育施設で行っている一時預かりをご利用いただけます。育児による疲労・ストレスからのリフレッシュでもご利用いただけますので、ご相談ください。 ■利用日数：月7日まで（拠点園は月14日まで） ■利用方法：利用希望の園に直接申し込み ■利用料金：基本料金（午前8時半から午後4時まで）4時間以内 900円 4時間超 1,800円、（午後4時以降のみ利用の場合）900円 加算金 午後4時以降は30分あたり100円、午後8時以降は30分ごとに200円 ※生活保護世帯、市民税非課税世帯（4月から8月までの利用は前年度分、9月から翌3月までの利用は当年度分）は無料 他に飲食代実費が必要	幼保運営課	025-223-7374
新潟市	結婚・子育て	子育て	未満児保育事業	未満児の生命の安全の保持及びその心身の順調な発達のため、1歳児の保育に係る職員配置を国基準（6：1）より手厚いもの（おおむね3：1）としています。 （実施している私立保育園等に対して、事業に要する人件費を給付しています） 保育士配置比較動画 （ <a href="https://www.youtube.com/watch?v=qwv9Z1DIgJA">https://www.youtube.com/watch?v=qwv9Z1DIgJA</a> ）	幼保運営課	025-223-7375

## 【新潟市（つづき）】

市町村・団体名	区分	小区分	支援策の名称	内 容	担当窓口	連絡先
新潟市	結婚・子育て	子育て	未満児保育事業	未満児の生命の安全の保持及びその心身の順調な発達のため、1歳児の保育に係る職員配置を国基準（6：1）より手厚いもの（おおむね3：1）としています。 （実施している私立保育園等に対して、事業に要する人件費を給付しています）	幼保運営課	025-223-7375
新潟市	結婚・子育て	子育て	病児・病後児保育	病気や病氣回復期にあるこども（生後6か月～小学6年生まで）を対象に、保護者の就労などの理由により家庭で保育できない場合に、医療機関等に併設した施設で看護・保育を実施します。 ■利用日数：原則として連続7日まで ■利用方法：事前登録を行い、空き状況などを確認の上、利用日前または当日に直接申し込む。 ■利用料金 基本料金 4時間以内 1,000円 4時間超 2,000円 加算金 午前8時30分までの早朝保育、午後5時30分以降の延長保育それぞれ30分ごとに200円 ※生活保護世帯、市民税非課税世帯（4月から8月までの利用は前年度分、9月から翌3月までの利用は当年度分）は無料	幼保支援課	025-226-1228
新潟市	結婚・子育て	子育て	新潟市奨学金貸付事業	無利子で奨学金を貸与します。 ■対象校種：専修学校専門課程（専門学校）、短期大学、大学、大学院 ■貸付額（年額）：専門学校、短期大学、大学及び大学院 40万円 ■返還：卒業後、半年ごとに年2回（7月、12月）。 ■返還特別免除：専門学校、短大、大学及び大学院の奨学生が卒業後、新潟市内に居住し、市民税が課税されている場合、返還終了まで年間返還額の1/2を免除（通算免除額：最大で貸付総額の1/4、限度額40万円）。	教育委員会学務課	025-226-3168
新潟市	結婚・子育て	子育て	地域と学校パートナーシップ事業	市立の全小・中・中等教育・特別支援・高等学校に配置した地域教育コーディネーターを中心に学校と公民館や図書館などの社会教育施設及び地域を結びネットワークを形成し、地域ぐるみで子どもの学びと成長を支える教育を推進。また、地域の学びの拠点として、開かれた学校づくりに取り組みます。	教育委員会生涯学習推進課	025-226-3277
新潟市	結婚・子育て	子育て	ブックスタート	1歳誕生歯科健診の会場でボランティアによる絵本の読み聞かせを行うとともに、絵本を1冊手渡します。	中央図書館	025-246-7700
新潟市	結婚・子育て	子育て	新潟発「わくわく教育ファーム」の推進（農業体験学習の推進）	授業に農業体験を取り入れた「アグリ・スタディ・プログラム」（農業体験学習プログラム）を中心に、市内全小学校での農業体験学習を推進します。	食と花の推進課	025-226-1844
新潟市	結婚・子育て	子育て	男性の育児休業取得促進事業奨励金	新潟市内の中小企業等に勤務する男性労働者が育児休業を1か月以上取得した場合に男性労働者とその労働者を雇用する事業主に奨励金を支給します。 ■男性労働者 5万円 事業主 20万円 ※支給には要件があります。	男女共同参画課	025-226-1061
新潟市	結婚・子育て	子育て	子育てワンストップサービス「子育てなんでも相談センターきらきら」	子育てに関する相談をワンストップで受け付けます。 電話：025-248-2220（平日8:30～17:15） R4.4よりLINEで相談予約ができるようになりました。 詳しくはホームページをご覧ください。 相談はホームページの相談フォームから可能です。（24時間受付） コーディネーターが必要な情報を案内するほか、専門機関へつなぐなどの対応をします。	子育てなんでも相談センターきらきら	025-248-2220

## 【新潟市（つづき）】

市町村・団体名	区分	小区分	支援策の名称	内 容	担当窓口	連絡先
新潟市	体験・交流	体験施設	いくとびあ食花	本市が誇る食と花をメインテーマに、子どもから大人まで様々な体験と交流ができる複合施設。「食育・花育センター」、「こども創造センター」、「動物ふれあいセンター」のほか、マーケット、レストラン、四季折々の花や緑を鑑賞できるガーデンや展示館（「食と花の交流センター」エリア）があります。	いくとびあ食花(食育・花育センター)	025-282-4181
新潟市	体験・交流	体験施設	新潟市アグリパーク	農産物の栽培・収穫体験や、牛の搾乳や羊、山羊とのふれあい体験などができ、最大70人宿泊できるコテージやキャンプサイトを備えています。また、農家による農産物の加工などを支援する食品加工支援センターを併設し、隣接する農業活性化研究センターと連携しながら6次産業化への取り組みを支援しています。	新潟市アグリパーク	025-378-3109
新潟市	体験・交流	イベント等	都市型グリーン・ツーリズムの情報発信	農林漁業・食・自然体験ができる関係施設やイベントについてホームページ等で情報を発信します。	食と花の推進課	025-226-1802
新潟市	体験・交流	イベント等	農業サポーター推進事業	新潟市では農家で農作業を手伝う農業サポーター（ボランティア）推進事業を実施しています。野菜づくりや園芸を学びたい、健康づくりをしたい、とお考えの方から農業サポーターとして登録していただき、消費者と交流したい、農業に理解を持ってほしい、労働力が不足している、という農家の農作業をボランティアで手伝っていただくものです。	食と花の推進課	025-226-1841
新潟市	体験・交流	イベント等	スマートフォンアプリ「1日農業バイト daywork」	スマートフォンアプリ「1日農業バイト daywork」を活用した、労働力確保支援の取り組みとして、1日単位から農業で働きたい方と労働力不足に悩む農業者へマッチング機会を提供しているサービスです。	食と花の推進課	025-226-1841
新潟市	ポータルサイト	-	アキハスプロジェクト	秋葉区の魅力を継続的に発信することで、移住検討者を秋葉区への移住につなげていきます。先輩移住者の紹介やイベントの案内などを中心に情報発信しています。	秋葉区役所地域総務課	0250-25-5672
新潟市	ポータルサイト	-	AKIHA移住コンシェルジュ	AKIHA移住コンシェルジュは、移住検討者への相談に乗り、様々なサポートや情報提供をします。また、移住後についても、地域住民や先輩移住者との交流の場を提供するなど、移住者が快適な生活を送れるようサポートします。	秋葉区役所地域総務課	0250-25-5672
新潟市	ポータルサイト	-	新潟市就職応援サイト	新潟公共職業安定所、新潟商工会議所、新潟市および市内の企業などで構成する新潟市雇用促進協議会が運営する「新潟市就職応援サイト にいがたで働こう」において市内就職希望者を対象に、新潟の企業情報をはじめ、新規学校卒業予定者の採用情報や中途採用の情報を提供するほか、合同企業説明会などの就職関連イベントや各種セミナーの開催情報を発信します。	雇用・新潟暮らし推進課	025-226-1642
新潟市	ポータルサイト	-	移住・定住情報サイト	移住・定住情報サイト「HAPPYターン」において仕事や暮らしに関する情報や、移住関連イベントのお知らせ、本市へ移住された方の経験談など移住に役立つ情報に加え、魅力ある新潟暮らしの情報を発信します。	雇用・新潟暮らし推進課	025-226-2149
新潟市	イベント	-	大学生向け市内就労促進事業	首都圏で暮らす就職活動を考えている学生と、Uターンして新潟市内の企業で働く20～30代の若手社員が交流するイベントを東京で開催します。	雇用・新潟暮らし推進課	025-226-2149
新潟市	その他	-	移住支援金	一定の条件を満たして東京圏から移住した方に対し、移住支援金（単身：60万円、世帯：100万円）を支給します。（就業、テレワーク、関係人口、起業のいずれかの要件を満たす方）	雇用・新潟暮らし推進課	025-226-2149
新潟市	その他	-	移住促進特別支援金	一定の条件を満たして三大都市圏（東京圏、名古屋圏、大阪圏）から移住した方に対し、移住促進特別支援金（単身：30万円、世帯：50万円）を支給します。（テレワークの要件を満たす方）	雇用・新潟暮らし推進課	025-226-2149

## 【新潟市（つづき）】

市町村・団体名	区分	小区分	支援策の名称	内 容	担当窓口	連絡先
新潟市	その他	-	子育て世帯移住支援金	一定の条件を満たして東京圏から子どもと一緒に移住した世帯に対し、子育て世帯移住支援金（世帯：50万円）を支給します。（就業、テレワーク、関係人口、起業のいずれかの要件を満たす方）	雇用・新潟暮らし推進課	025-226-2149
新潟市	その他	-	地方就職学生支援金	東京圏から就職活動で本県を訪れた大学生への交通費の支援と、本県に就職かつ本市に移住した際の引越し費用の支援を行います。	雇用・新潟暮らし推進課	025-226-2149